

令和4年7月29日

認定こども園 津田このみ学園 三宅分園

夏号 ひまわりぐみ だより

暑い夏がやってきました。バケツやじょうろに水を入れたり、流したりを繰り返していましたが、「お花やきゅうりもお水ほしいみたい」と声をかけると、じょうろを持って植物に水やりをするようになりました。今では戸外に出て一番にすることが植物の水やりです。



大きなキャンパスに何を描こうかな♪

じょうろで花や野菜に水をあげたり、おたまで水をすくってバケツやカップ入れたり、雨どいに水やボールを流したりと好きな遊びを見つけて思い思いに遊んでいます。一人が始めるとそれに興味を持った他の子も真似をして遊びが広がっています。園庭の両端にブロック塀があるのでハケを用意しました。最初は保育者がイラストを描いているところを見ているだけでしたが、しばらくするとハケを手に取り、大きく線を描き始めました。線が描けたことを不思議そうに見つめ、何度もハケを動かしていました。遊び始めの頃は保育者がバケツに水を入れて用意していましたが、数日後には自分でバケツに水を入れ、ハケとバケツをブロック塀まで運んでいました。繰り返し毎日遊ぶ中で、自分のやりたいことが見付き、自分で考えて用意をしている姿に驚きました。そっと見守っていると、ハケで描いている子の横



にじょうろを持った他の子が近づいていき、バケツに水を入れてくれました。言葉でのやり取りはまだ難しいですが、なんだか思いが通じているような瞬間で、ほほえましかったです。水で絵を描いて「ぞうさんかいたよ」「じゃーん」と見せてくれる子もいました。



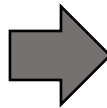
水で絵を描いて「ぞうさんかいたよ」「じゃーん」と見せてくれる子もいました。



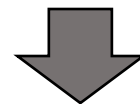
美しい日本語を意識してみませんか？

無言でおむつを替えていませんか？
無言でシャワーをかけていませんか？
子どもの言葉を聞き流していませんか？
ヤバイ・すごい！で片づけていませんか？

例えば



ズボン脱ぐよ。右足あげてね。
シャワーかけるよ。
〇〇だったんだね。



言葉がけがあると

子どもたちの言葉を育むために

- ① 豊かな言葉を話す
- ② 正しい日本語や美しい日本語を使い、丁寧に子どもたちに話しかける



忙しい時も時間がない時もあると思いますが、ひと言、声をかけるだけでも子どもの安心感に繋がります。

周りの大人の関わり方が言葉の習得にはとても重要になります。

日常生活で心掛けてみてくださいね♪